



京都社会人大学校

北近畿校 通信

第4号 2018年5月

北近畿校運営委員会

事務局発行

新年度 いよいよ開講 充実した学生!? ライフを送るために

暑かった！春から、目に青葉の気持ちの良い季節になりました。

北近畿校の2年目が開校します。わからないこと、改善・工夫してほしいと思うこと、何なりとお伝えください。受講生のみなさんの声、運営委員会で協議していること、双方向でみんなが知ること、より充実した学びの場になることをめざします。みなさんのご協力をお願いします。12月に全講座が終わったとき「また来年の講座が楽しみ！」と言ってもらえるよう運営委員会一同、精いっぱい努力します。

受講する講座のほかに、他の講座で1回だけ聞いてみたい講座があるんだけど...

春の公開講座でのアンケートの中に、こんな希望が書いてありました。
できます!

① 受講生の方（一回入学金を払った方）は、申し込んだ講座以外で聞きたい講座がある場合、1回につき1,000円で受講できます。

■例えば、(イ) 歴史講座に申し込んだ ⇒ 8回 8,000円

(ロ) 自然科学講座の宇宙の話と、

美術鑑賞講座の天寧寺見学に興味がある

⇒ それぞれ 1,000円



という具合に、自分の興味に合わせて他の講座の中からチョイスして受講できます。

② 「歴史講座に申し込んだけど、どうしても出られない回がある」などの場合も運営委員にご相談ください。他の講座への振り替えなど、柔軟に対応します。せっかく払い込んだ受講料がムダにならないようにしましょう。



③ 受講生以外の方は、各講座1回につき1,500円で受講できます。「お試したい」方などありましたら、声をかけてあげてください。

ひとこと感想 お帰りに切り取ってお出してください

今日の講座は 月 日 (○をつけてください⇒) 時事問題講座 歴史講座 自然科学講座
健康講座 美術鑑賞講座

今日の講座はいかがでしたか (裏面にも書けます)

よろしければお名前 () 無記名でもかまいません

春の公開講座

「母 いわさきちひろを語る — 平和と子どもを愛した生涯」

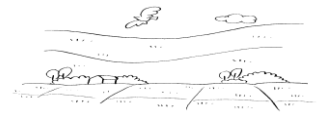
松本猛氏講演会 (4月21日) に 149人



松本猛氏

春の公開講座が開かれました。講師は「いわさきちひろ」の息子さん松本猛さんです。ちひろが最後に猛さんと作った絵本『戦火のなかの子どもたち』の中の赤ちゃんを抱く母親像の紹介から始まり、ちひろの絵に込めた思いを話されました。ちひろが誕生してから今年100周年になります。ちひろは戦前の中国大陸での体

験、東京の山の手空襲の体験等を経て、終戦を境に世界観が変わったということです。子どもの様々な表情をリアルに表せる力は他に例をみません。その子どもの絵の背景にあるのは二度と戦争をしてはいけない、常に平和を願う強い思いがあったことが語られました。



参加者アンケートから――

◆ちひろさんの人生と絵のつながりを詳しく聞かせてもらった。これから絵を見た時の感じ方が深くなっていくと思った。

◆丹波生活衣館でビデオを見たり、美術館で絵画展、絵本展を見たり、説明を聞いたりしたのと今日の話がプラスされてよかった。

◆やわらかな口調でちひろの世界を教わりました。今日お話を聞くのをとても楽しみにしていました。

◆絵を読むという話がとてもよかったです。子どもは感性豊かなのですね

◆ご子息である松本さんのお話をお聞きして、さらにちひろさんの絵のよさが大きく感じられるようになりました。昨日までと違う。

◆一人の女性の生きざまを学べてよかった。生涯で何をやりとげるか？本当に生きた女性だと思いました。

◆平和の尊さを今一度認識した。

◆絵画を趣味にするものにとって、見る目・心の大切さを学べた。

たくさんの方にアンケートにご協力いただきました。ありがとうございました。

秋の公開講座は

10月14日(日)

アンサンブルのつどい

を予定。お楽しみに！

(ひとこと感想の続き、質問、ご意見など)

